



2022年7月7日 日

書籍「今の大ヒットはこれだ!! 2022」にて 当院の婦人科の記事が掲載されました



9:00~12:00 14:00~17:00
※土・日曜日・祝日
※婦人科と産科のみ、土曜日午前中(祝日・年末年始を除く)は、診療を行っている。



タオルなどのアメニティは貸出無料。全室個室(特別室3室を除く266床は資料差額不要)でシャワー、トイレ、WiFi完備など居心地のよい環境が用意されている。



人の手より細かな作業ができる内視鏡手術支援ロボット「ダビンチX」



「倉敷美観地区」気分転換に訪れることを楽しみに来院される方も多くという。
※「倉敷成人病センター」より、車で約6分

宮筋腫や子宮内膜症の手術は99%が低侵襲手術で、良好な治療成績を収めています。他院で開腹手術が必要といわれた症例でも大部分は腹腔鏡下あるいは、ロボット支援下での手術が可能です」

2000年以降、20代から40代前半の働き盛りの女性や妊娠・出産可能な年齢の女性が増え、毎年約1万人以上の女性が発症する子宮頸がんの早期の段階での腹腔鏡下広汎子宮全摘術でも実績を重ねる。

「当院では、先駆的に2000年より子宮頸がんに対する腹腔鏡下手術を導入し、これまでに約500例の患者さんを手術治療してまいりました。近年はより正確で細かな

作業が可能ならロボット手術も増加。医師の経験と高度な技術が必要な婦人科腹腔鏡下手術・ロボット支援手術の名医が在籍し、患者さんのケアにあたりま

1986年以来、安藤理事長が施行した婦人科の全身麻酔手術は25000例以上、後腹膜リンパ節郭清を伴う腹腔鏡下子宮がん、卵巣がん手術はロボット手術も含め1600例以上にのぼる。婦人科手術についての質問に答える無料のメール相談や電話相談も受け付けている。

婦人科専用電話相談専門ダイヤル
☎ 080-2947-3673 (平日14:00~16:00)



観光情報は「倉敷観光WEB」へ



安藤正明 医師 ホームページ 無料メール相談 受付中



ロボット支援下手術の紹介動画

めて県外から来院する女性も多くいる。
ライオン/倉敷地区

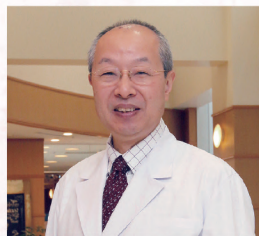


白壁の美しい町並みが続く倉敷美観地区。

体にやさしい低侵襲手術で 女性の疾患治療 腹腔鏡下手術の名医が 早期の回復に注力

国内屈指の手術症例数
際立つ患者への配慮

一般財団法人倉敷成人病センターの婦人科は、傷が小さく、出血も少ない、体にやさしい低侵襲手術で女性特有の子宮筋腫や子宮頸がん、子宮内膜症



安藤 正明 医師
理事長 兼 ロボット先端手術センターセンター長
婦人科腹腔鏡下手術の先駆者。30年以上、医療に携わり、数多くの執刀経験がある。

●日本ロボット外科学会(婦人科)
国際A級ライセンス:安藤 正明
国内A級ライセンス:柳井 じおり、菅野 潔

●日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
安藤 正明(あんど まさあき)
羽田 智則(はだ ちのり)
柳井 じおり(やないしおり)
坂手 慎太郎(さかて しんたろう)
菅野 潔(かんの きよし)
菅野 麻里(さわだ まり)

一般財団法人 倉敷成人病センター
くらしましじんびょうセンター
☎ 086-422-2111
☎ 岡山県倉敷市白楽町250
https://www.kfmc.or.jp/

などの疾患の治療で実績を重ね、婦人科医師が20名在籍している。入院病棟の部屋は、全室個室で特別室3室を除く266床が室料差額なし。また、プライバシーに配慮しているだけではなく、従来の病院のイメージを覆す「心安らく空間」として高い評価を得ている。

執刀の中核を担う安藤正明理事長兼ロボット先端手術センターセンター長は、婦人科悪性腫瘍の腹腔鏡下手術を確立させた国内のパイオニアの一人で、世界的に知られた腹腔鏡下手術およびロボット支援手術の名医。婦人科では、唯一国際A級ライセンスの資格を持つ。子宮機能を温存する腹腔鏡下手術を利用した妊孕能(にんようのう)温存手術が提供できるため、がんを患いなが

ら出産を希望する多くの女性が全国から訪れる。「婦人科手術では、なるべく早くいつもの生活を送れるようにすることが大切と考えています。このため、当院では全国に先駆け、1990年代から腹腔鏡下手術、2013年からロボット支援下手術を開始し、積極的に推進してきました。特に30代から40代の女性に多い子